

第十五回 帝國議會衆議院 巡查看守退隱料及遺族扶助料法案委員會會議錄(筆記)第一回

明治三十四年三月十八日 議長ノ指名ヲ以テ本委員九名ヲ選定ス其ノ氏名左ノ如シ

加藤 深尾 和泉	六藏君 龍三君 邦彦君	井上彦左衛門君 武市 庫太君 橋本 久太郎君	源衛君 源衛君
和三君	磯田	磯田	和三君
鶴平君			

明治三十四年三月十八日午後四時三十五分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

加藤 深尾 龍三君	井上 源衛君	井上 源衛君
和三君	磯田	武市 庫太君
		和三君

年長者井上源衛君投票管理者トナリ委員和泉邦彦君ノ發議ニ依リ投票ヲ用
井ス年長者ヲ委員長ニ年少者ヲ理事ニ推薦スルニ決セリ

依テ當選者左ノ如シ

委員長 井上 源衛君	理事 武市 庫太君
------------	-----------

會議

明治三十四年三月十八日午後四時四十分開議出席委員前二同シ

出席政府委員左ノ如シ

監獄局長 久保田貫一君

内務省官房長 長谷場純孝君

海軍總務長官 齋藤 實君

O委員長井上源衛君 是ヨリ引續キ會議ヲ開カン

O政府委員長谷場純孝君 本案提出ノ理由ヲ述ヘンニ巡查看守ノ如ハ他ノ官吏ト異ナリ或場合ニハ窃盜又ハ強盜ニ出合テ最モ危險ナル職務ナリ然ルニ是等ノ者カ退隱スルモ遺族ニ於テハ扶助料ヲ受クルコトヲ得スシテ只死亡ノ場合ニノミ之ヲ受ルコトトナリタリ十五年ノ法律ニ於テハ六圓以上九圓ノ俸給ナリシモ二十九年ニ改正シテ九圓以上十五圓以下トナシタリト雖モ矢張恩給

ハ六圓以上九圓以下ノ俸給ノ範圍ニ於テ支出セリ志願者ノ少キモ全ク薄給ナルコトカ第一ノ原因ニシテ第二ニハ恩給法ノ不備ニヨルモノナリ巡查看守カ

自己ノ便宜ノ爲免職ヲ願フモ年齡五十歳ニ達セサレバ第一條ノ(二)(三)(四)ノ外ハ

退隱料ヲ給與セスト云フハ全ク法律ノ適正ナ完全ナルモノナリト云フヲ得ス

現行法ニ於テハ寡婦孤兒ニノミ與フルコトトシ他ノ尊族親ナトニハ與エス故ニ寡婦孤兒ナケレハ扶助料ヲ受ル權利ナキハ他ノ一般官吏ト平均ヲ得スシテ

不都合ノ最モ甚ダシキモノト信スル金額ハ何程アリヤ

O政府委員長谷場純孝君 御尋ノ金額ハ三十三年度ノ調査ニ依レバ北海道及沖繩ヲ除キ五萬八千八百三十圓ニシテ改正案ニ依リ計算シタル額ハ五萬三千四百七十九圓ノ豫算ナリ

O和泉邦彦君 巡查看守ノ勤續何年カ最モ長キヤ

O政府委員長谷場純孝君 五年以上十年以下勤務セシモノ六百二十四人(三

十三年一月ノ調)五年以下ノモノ四千八百八十九人一年以上二年以下ノモノ

四千六百七十九人二年以上三年以下ノモノ三千三百九十七人十五年以上ノモノ

四千三百六十一人(三十三年四月一日調)

O武市庫太君 巡查看守ノ給料ハ何程ナルヤ

O武市庫太君 兄弟等ハ如何

O政府委員長谷場純孝君 九圓以上十五圓以下ナリ

O武市庫太君 兄弟等ハ如何

O政府委員長谷場純孝君 兄弟姊妹ハ一時金五十圓以上百圓以下ヲ給スルコトトナリ

O政府委員長谷場純孝君 海軍警查貴衆兩院守衛ヲ本案ニ掲ケサルモノ是等モノニシテ一度官職ヲ奉スルトキハ退隱料ノ支給ヲ停止スルコトニナリ居レリ然ニ現行法ニハ單ニ官吏ヲ奉シタルトキハトアリ爲ニ疑ヲ來シテ之ガ爲メ訴訟等ヲ生シタルコトアリ改正法ハ此點ニ注意ヲ加ヘ明文ニ判任官待遇ノ文字ヲ加ヘテ此ノ疑義ヲ避ケタリ

O深尾龍三君 二十年以上勤續セシモノニシテ自己ノ爲退職シタルモノニハ尙ホ退隱料ヲ給スルヤ否

O政府委員長谷場純孝君 第一條ノ各號ニ當ルモノニアラサレバ退隱料ヲ給

セス (書記第一條ヲ朗讀ス)

O委員長井上源衛君 大体ノ審議終リタルヲ以テ之ヨリ逐條審議セン付テハ

書記ヲシテ原案ヲ朗讀セシムベシ

(書記第一條ヨリ第二十五條マテヲ朗讀ス異議ナシ)

O委員長井上源衛君 第一條ヨリ第二十五條マテ異議ナキニ付原案ノ通決定

○和泉邦彦君 本員ハ第二十六條中海軍監獄看守ノ下海軍警查貴族院衆議院守衛ノ文字ヲ加ヘタシ

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○委員長井上源衛君　和泉君ノ修正說ニ賛成者多數ナリト認ムル故本條ハ和泉君ノ修正說ニ決定ス

○委員長井上源衛君　第二十七條異議ナキニ付原案ノ通り決定ス
(書記第二十七條ヲ朗讀ス異議ナシ)

○加藤六藏君　本員ハ本條第一項中巡查看守給助例及ノ下明治十五年太政官達第六十六號ノ文字ヲ削リ其次ノ海軍監獄看守ノ下ニ海軍警査貴族院守衛衆議院守衛ノ文字ヲ加ヘ第二項ノ明治三十三年法律第三十號ノ上ニ明治十五年太政官達第六十六號ハ巡查看守ニノ文字同項海軍監獄看守ノ下ニ海軍警査貴族院守衛衆議院守衛ノ文字ヲ加フル修正說ヲ提出ス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○委員井上源衛君　加藤君ノ修正說ニ賛成者多數ト認ムル故ニ本條ハ加藤君ノ修正說ニ決定ス之ニテ全部議了ニ付散會スヘシ
午後五時十五分散會